

原ゆうじ市政報告 VOL.101

松戸市に関すること、困りごとのご相談はお気軽に！！

TEL 070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！ 公式 HP: hara88.mobi 発行元: 松戸市上本郷905



(原ゆうじのプロフィール)
1965 年松戸生まれ 上本郷
小、松戸六中、立教高校、
立教大学理学部化学科卒。
長瀬産業（商社）勤務を経て
家業のベーカリー店を継ぐ
H22 年市議初当選、
現在、市議会議員 4 期目

松戸市議会議員、原ゆうじ市政レポート「税金の無駄遣いは許さない！」8 年春号

新ごみ焼却施設建設へ！

驚愕の予算 1,034 億円！

焼却施設建設工事費
+
運営維持管理費（20 年間）

令和 7 年 12 月議会、市から上記補正予算議案が提出され議会で可決、それまではっきりしなかった新ごみ焼却施設建の巨額費用が初めて明らかになるとともに、建設方針も正式に承認されました。

松戸市のごみ焼却の現状は？ 現在、可燃ごみ（年 9.4 万トン）は、高柳のクリーンセンター廃止後、和名ヶ谷クリーンセンターのみで焼却されていますが、**燃やしきれないごみ（1.4 万トン）**が発生しています。そのごみは、まず市内中継施設で圧縮処理された後、委託先の市川市、浦安市へ搬送され焼却処理されています。**（年費用：6 億円）**

市外処理の問題点は？ 委託先のトラブル等により、焼却処理ができなくなるリスクが常にある点です。

実際に、3 年前、市川市の焼却施設でトラブルが起こり、委託処理が出来なくなり、緊急的に民間処理施設に処理を依頼、ごみ処理が滞ることとはなかったものの、多額の処理費用が掛かる結果となりました。

*ごみ市外処理費用内訳

- ①市川市への処理委託費用
年 10,500 トン、3 億円
- ②浦安市への処理委託費用
年 3,500 トン、1.2 億円
- ③中継施設運営費用
8,300 万円
- ④ごみの市外への運搬費用
9,000 万円

1 目的

本市における可燃ごみの処理施設は、和名ヶ谷クリーンセンターの1施設体制となっており、平成7年に稼働してからすでに約30年が経過しております。可燃ごみの安定的かつ効率的な適正処理体制を構築するため、旧クリーンセンター用地（高柳新田37番地）に新たな焼却施設を整備するものです。



旧クリーンセンター用地
（高柳新田37番地）

和名ヶ谷クリーンセンター
（和名ヶ谷1349番地の2）

2 補正予算の概要

【整備・運営事業費】

1,034.0 億円（債務負担行為設定額）

※工事費と運営維持管理費（工事後20年間）の合計額

3 施設規模及び整備スケジュール

【施設規模】

施設規模は 402 トン/日 とします。

【整備スケジュール】

項目		R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
設計・ 建設工事	解体工事								
	実施設計								
	建設工事								
	試運転								
施設稼働									

※整備スケジュールは現在の想定であり、事業者決定後に変更となる場合がございます。

原ゆうじの考え！ 驚愕の費用が掛かることにはなりますが、**ごみ処理は市民生活に、必須であり、かつごみの市内処理は基本**ですので、焼却炉建設は他の大型事業よりも費用面でも時間面でも優先して進めるべきと考えます。前市長は、市役所移転など他の事業を優先、多額の費用が掛かるごみ処理施設建設を先延ばし、結果、建設費高騰を招いたと思われ、これは明らかに失政だったと思います。

多額費用の焼却炉建設を推進する今、これ以上の財政悪化とならぬよう原ゆうじは、まずは**税金の無駄遣い**と思える**市役所移転案に反対、阻止**、併せて増収策の提案、実現も目指してまいります！！

なぜ赤字販売？

市が税金
で建てる

新松戸マンション

駅前一等地
約 6,000 m²

+

移転補償費
などの経費

+

マンション建設費
180 億円

➡ **169 億円**で販売

180 億円で建てたマンションを 169 億円で販売！土地代、経費はゼロ！なんでだよ！

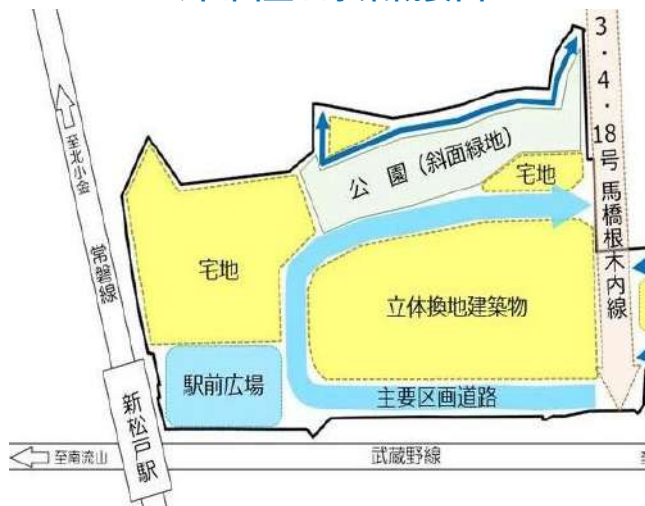
市が現在進める新松戸駅東側駅前の開発事業

↓ 区画整理事業概要図

(区画整理事業) は地権者から土地を提供してもらいその土地に市が、マンション 14 階建て(立体換地建築物)を建設、そして地権者に提供された土地価格と同価値のマンション床(権利床)で返還するという

立体換地という方式で進められています。

問題なのは保留床販売！ マンションは、地権者に返す床以外の部分(全体の約 85%、保留床と呼ぶ)を販売する計画ですが、問題なのはその販売予定額です。駅前の一等地約 6,000 m²の土地を含めての販売なのに、なぜか土地代はタダかつマンション建設費よりも安く民間事業者に売る赤字での販売計画となっています。



市と民間事業者との販売協定は秘密協定！

市が建てるマンション(立体換地建築物)は、地権者に返還する権利床(3,701 m²)以外の部分である**保留床(22,325 m²)**を市は一括で民間事業者に販売する予定ですが、その販売先の民間事業者(保留床取得事業者と呼ぶ)を市は令和 4 年に募集、決定後、市はその販売予定先と協定を結んでいます。

秘密協定でいいのか！ 問題なのは、その販売協定が秘密協定となっていることです。

令和 4 年時は、まだマンションの詳細な建設費は出されていませんでしたので、応募した事業者は、予想される保留床部分の建設費とその部分の対する購入額を示し市と協定を結んだと思われますが、重要なその額を市に何度聞いても市は「秘密協定なので答えられない！」としています。

なぜ秘密協定？なぜ赤字販売？市は疑われてもいいのか！ しかし、保留床取得事業者の募集要項に、秘密協定との文字は一切ありませんでした。なのに、なぜか市は決定した民間事業者と秘密協定を結び、3 年経って今回、市はマンションを赤字販売する計画に変更を行うとしています。この謎めいた市の計画、市はいらぬ疑惑を招かぬよう市民に明快に説明できるのでしょ

原ゆうじの考え！ 駅前広場を作り、バス運行をさせるなど新松戸駅東側の開発そのものは、地権者等地元の合意があれば賛成です。しかし、その開発方法として、公金(税金)で建てたマンションを民間に大赤字で売ること。ましてやその販売に関して、秘密協定を盾に一切知らせようとしない市の姿勢は言語道断です。まずは説明をすること。さらにはマンション規模の縮小、場合によっては現在の協定を破棄し、少しでも高く売れるように他の販売事業者を含めた公募による販売など採算性の改善を市に対して原ゆうじは強く求めてまいります！ やっぱり税金の無駄遣いは許せません！！

～原ゆうじ市政報告会のお知らせ～

日時：2月1日(日)午後4時30分～6時

場所：北松戸会館(北松戸駅下車 5 分、問い合わせ ☎ 070-5540-9565)

予約不要！入場無料！

皆様のお越しをお待ちしております！